

令和5年度（夏）宮崎大学公開講座

「源氏物語

～椎本（しいがもと）巻を読む～」

集中講義予定

会場：まちなかキャンパス

「源氏物語 ～椎本巻を読む～」とは、

「椎」とはもちろんシイの木のことですが、「椎本」は、『古今和歌六帖』（平安初期に作られた勅撰集『古今集』とは違い、平安中期に私的に作られた類題和歌集（同じテーマ（＝単語）ごとにまとめられた歌集）にある有名な歌「優婆塞（うばそく）が行ふ山の椎が本あなそばそばし床にしあらねば」から、優婆塞、すなわち出家せずに仏道修行に励む人の意となり、つまりここでは宇治八宮のことです。

要するにこの巻は宇治八宮が主人公ということですが、源氏一族でもない彼がどうして主人公になれたかと言うと、彼はこの巻で亡くなるからです。「死ぬ人が主人公」というのは、何か変な気がなされる方がいらっしゃるかもしれませんが、同様の例では葵巻で亡くなる葵上、柏木巻で亡くなる柏木等がいますから、『源氏物語』においては、さほど不思議ではありません。要は、読者の印象に強く残れば、その人が主人公ということになるのです。

今回の講座の一日目でお話ししますように、八宮は亡くなる前に娘たちを薫に託したり、遺言を娘たちに残したりと、色々なことをします。特にその遺言は、これ以降の巻々でそのように解釈されていますが、とりよによって、娘たちに結婚するなど言っているようにも見えますので、薫に対してしたことと矛盾することになります。ある意味「謎の行動」とも言え、後の巻々の展開を縛っていきますから、まさに主人公にふさわしい行動とも言えます。

この「矛盾」の解き方については、専門家も色々言ってきましたが、皆さんもぜひご自分で考えてみてください。今回はそれにより薫が遂に娘たちの一人である大君に恋情を訴え、それでも迷いを残しているかのように、二人を垣間見る場面で終わります。前回の講座を受講された方は、そこにも似た場面がありましたから、是非比較して異同を探してみてください。

講師：宮崎大学名誉教授
博士（文学） 山田 利博

	期 日	内 容
第1回	令和5年9月2日（土） （10:30-12:00）	八宮、姫たちを薫に託す
第2回	令和5年9月2日（土） （13:00-14:30）	八宮、遺言を残し死去
第3回	令和5年9月3日（日） （13:00-14:30）	薫、匂宮と自己の恋情を伝える
第4回	令和5年9月3日（日） （14:45-16:20）	薫、姫たち二人を垣間見る

◆受講方法

1. 8月25日（金）までに申込みフォームまたはお電話、E-mailにてお申してください。

宮崎大学 学び・学生支援機構

受付時間：9：00～16：00（土日・祝日は除く）

電話：0985-58-7188 F A X：0985-58-7793

E-mail：m-chiiki@of.miyazaki-u.ac.jp

※申込時の情報は、公開講座に関する業務のみに利用され、

その他の目的には利用されません。



2. 受講申込（仮予約）がお済みの方は、銀行窓口で受講料を納入してください。

◆受講料：3,000円（全4回分・消費税込）

◆振込先：宮崎銀行 清武支店 普通預金

口座番号：57863

受取人：国立大学法人宮崎大学（ダイ）ミヤザキダイガク

電話番号：0985-58-7122

注）銀行窓口で受講料を納めた際は、振込金受取書を必ず受け取ってください。

領収書になりますので、大切に保管してください。

申込後、大学にて振込確認を行い、受講者名簿に登録させていただきます。これで、受講決定となります。

※受講料について

- ① 受講料は銀行振込となります。当日の現金払いはお受けできません。
- ② 銀行振込の際には、振込手数料が必要となります。受講者の負担となりますのでご了承ください。
- ③ 受講料は返還できませんのでご注意ください。